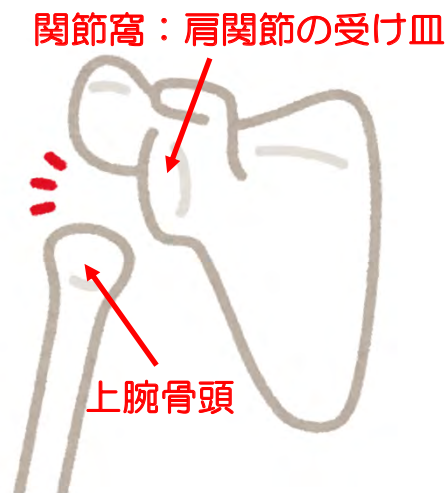


肩関節靭帯修復術

対象

このような場合に、手術をお勧めすることがあります。

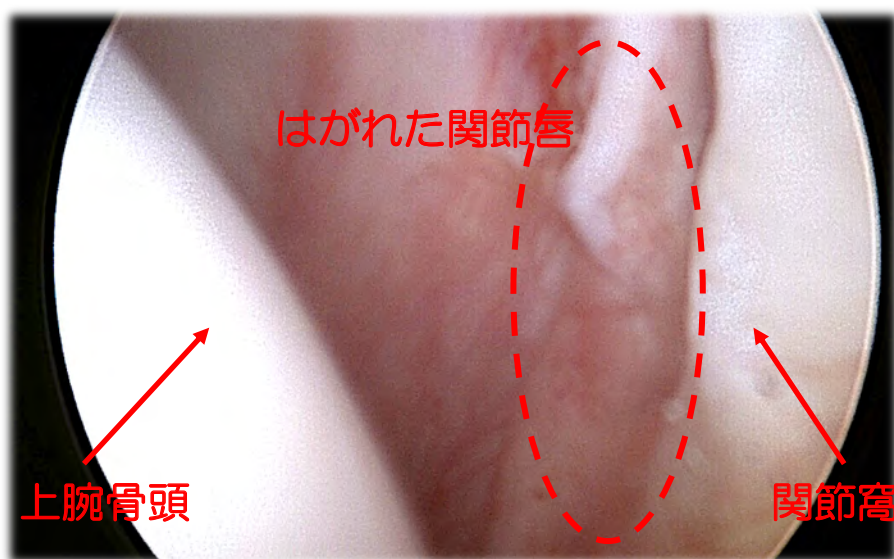
- 肩関節を安定化させる靭帯が断裂し、その靭帯とつながる関節唇（かんせつしん：関節窩を深くする軟骨）がはがれて肩が脱臼しやすくなっている場合
- 靭帯が緩んで機能せず、脱臼不安感が持続する場合



方法（一例を紹介します）

関節鏡（かんせつきょう：関節内部を見る内視鏡）によるからだへのダメージが少ない手術です。

- ① 全身麻酔の導入後、手術ベッドに半座位（ビーチチェアに座るような姿勢）になります。
- ② 肩に 1cm 程度の傷を 1 箇所つくり、関節鏡で関節唇の状態など肩関節内の観察をします。
（写真：関節鏡で見た関節唇の例（点線部分）。正常では関節窩に土手のように付着しています。）

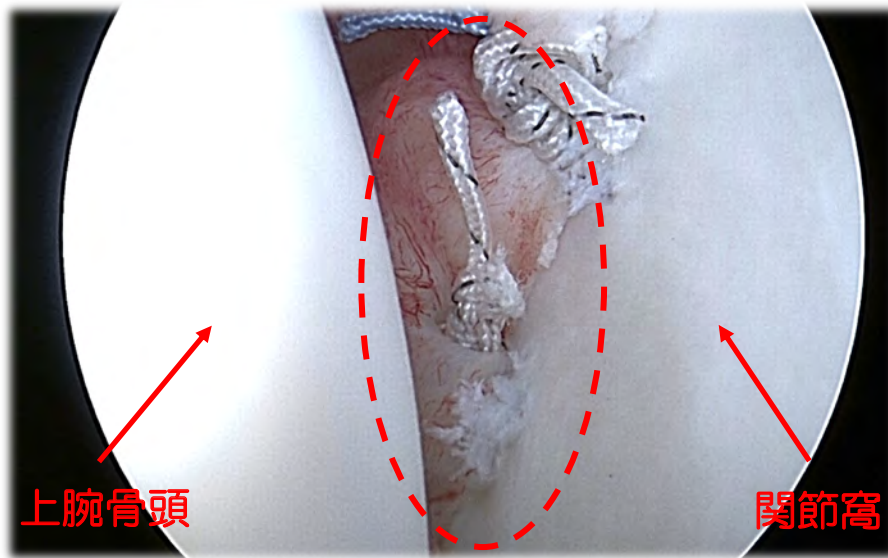


- ③ 肩に 1cm 程度の傷をさらに 2 箇所つくります。

- ④ モニタで関節内部の状態を観察しながら、断裂した靭帯と関節唇を特殊な器械（アンカー）で縫合します。



- ⑤ 修復した関節唇を関節鏡で最終確認し、傷を閉じます。
（写真：アンカーと糸で縫合され、関節唇が修復されています（点線部分））



- ⑥ 術後の疼痛を少なくする目的で肩にいく末梢神経のそばへ細い管（カテーテル）を頸部から挿入・留置します。カテーテルは術後2-3日で抜去します。



リハビリテーション

- 理学療法士が患者さんの個別性に合わせてリハビリ計画を立て、入院前から退院後まで一貫した介入を継続していきます。
- 全身麻酔から目が覚めてはっきりしてきたらトイレ歩行ができます。手術した肩はしばらく動かさせませんが、ボールを握るような手指の運動は筋力の低下を予防するために続けます。
- 頸部のカテーテルが抜けたら、理学療法士によるリハビリが始まります。手術した側の肘を曲げ伸ばしするエクササイズなどをします。
- 手術直後は、ストックネット・ベルポー包帯で一時的に固定、翌日から専用の**脱臼予防用サポーター**を装着します。付け外しは一人でできるよう術前から訓練してもらいます。



<上図：脱臼予防用サポーター（右肩を手術する場合）>

- 肩の可動域と筋力を再獲得するため、**退院後のリハビリが重要**です。

メリット

肩が脱臼しにくくなり、あきらめていた活動的なライフスタイルを取り戻すことが期待できます。



入院期間



手術後 5 日間程度で退院することができます。患者さん用の入院計画は、下記のスケジュールが目安となります。

医療法人 城東整形外科

城東 花子 様 肩関節脱臼の手術を受けられる方へ

★この表は、入院から退院までの治療の目安になります。患者さんの状態により多少の変化があります。

★手術後、予定通り退院できるよう一緒に取り組んでいきましょう。分からない事がありましたらいつでも医師・看護師・リハビリ担当者にお尋ね下さい。

	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目
	術前	術後			
検査	● _____ : _____ ~ 手術予定 □術前から点滴開始 □抗生剤点滴	□酸素マスク装着 □モニター類装着 (心電図・血圧等)	□検温 1日3回(6時10時20時) 体温測定、血圧測定、創部チェック等		□先生から指示が出た場合、レントゲン・CT検査を実施 □退院後、術後1か月目、3か月目にMRI検査を行います 
薬剤	□当日朝の内服薬 別紙参照	□消炎鎮痛剤処方 ※継続したい場合はお知らせ下さい 	□抗生剤点滴 午前 □抗生剤内服 昼食後から5日間		
処置	身体装着物を全て外す □入れ歯 □眼鏡 □コンタクトレンズ □指輪 □ヘアピン等 □術衣の下はパンツのみ ※ブラジャーも着用しません	□肩を固定する □痛みを抑えるためチューブが首に入っています □尿管が入りません 手術後、トイレに行きたい時はお知らせ下さい	□持参した装具を装着する 		□首に入っているチューブ抜去 □傷処置
リハビリ 安静	□術衣の下はパンツのみ ※ブラジャーも着用しません				□リハビリ開始 
説明 指導	□弾性ストッキング着用 □爪は短く切る □髭は剃る □化粧・マニキュアはしない	家族の方へ 《医師より》 手術の説明があります 病棟内でお待ち下さい 《看護師より》 安静などの説明があります			□身体・傷の状態が良ければ、3日ほどで退院となります
清潔	□前日中に入浴をすませる				□首チューブ抜去後、装具を外しシャワー浴可
食事	□絶食 前日 21時以降	□術後の飲食について その都度お知らせします 許可が出るまでお待ち下さい	□糖尿病などの患者さん以外、食事制限はありません		《入院費について》 退院時請求書はご用意できません。後日ご連絡いたします。 《退院後の生活》
その他	□絶飲 当日 _____ 時 以降	□出血や痛みがある時はいつでも医師・看護師にお知らせ下さい			□傷は汚染しないように注意して下さい □傷から出血や化膿、38℃以上の発熱、痛みが強くなる等の症状がある場合は早めに受診して下さい □肩装具は必ず装着して下さい